

日奈久っ子



八代市立日奈久小学校
学校便り 第16号
平成31年2月13日発行
文責 中村

3つのいっぱい「えがお・やるき・げんき」

学んで思わざれば即ちくらし、思いて学ばざれば即ちあやうし

昨年12月に、3年以上で実施されました「熊本県学力調査」の結果が公表されました。日奈久小学校の子ども達の結果は、残念ながら、平均値では熊本県の平均を少々下回っていました。

私は、子ども達の授業中の様子を見ていますが、子ども達はよく集中して学習に取り組んでいます。意識アンケートの結果では、「学習が好きか」の質問に対し「好き」と答えている子ども達が県平均を大きく上回っていましたし、家庭学習の時間も、ほぼ全員が30分～2時間以上、「難しい問題に挑戦してみたい」と答えている割合も県平均よりも高いなど、日奈久小の子ども達はよくがんばっていますし、学習に対する意欲が高い子ども達の様子もうかがえます。

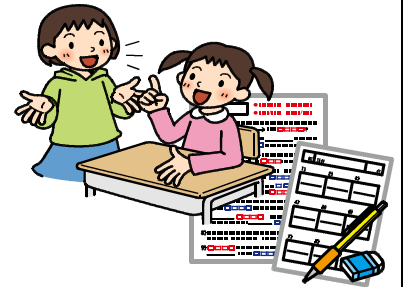
では、課題がどこにあるのか？と、意識アンケートを見ると、「理解できるまで、努力しているか。」「自分の考えを深めたり広げたりできているか。」という質問については、県平均より低い傾向がありました。

論語に「学んで思わざれば即ちくらし、思いて学ばざれば即ちあやうし」という言葉があります。

勉強は、教えてもらうだけでは身につけません。知識を得る本来の目的は、その知識を活用することにあります。学んだ知識を活用するためには、自分で考えて、学んだ知識を自分のものにしなければなりません。つまり思考することが大切です。学びには自主的な思考・熟考が必要です。

また、思考の目的は、事物の因果関係や物事の原理等を分析し、最終的には結論を出すことです。でも、いくら考えても、そこに必要な知識がなければ結論を出すことはできません。多くの知識を把握したうえで、はじめてしっかりと結論を出すことができるのです。

知識を活用して自分で考え、自分で考える中で、知識を確かなものとし、新たな考えを生み出すことが学習です。日奈久の子ども達は、学習意欲は满满ですし、素直にがんばることができます。もっともっと伸びる力を持っています。学校では、時代を担う日奈久っ子の未来のため、さらに学習への支援をすすめて参ります。



「あいさつの心」これからも大切に

先日、学校評議員の羽多野様から、うれしいお電話がありました。『学校の周りを歩いていたら、2年生の子ども達から「おはようございます」とあいさつをしてくれて、大変うれしかったです。』という連絡がありましたよ。」ということでした。

子ども達に挨拶の心が育っていること、その心が地域の方に伝わったこと、それを学校に伝えて下さったことに、大変感激いたしました。本当にありがとうございます。ご家庭や地域のご指導・ご支援の賜だと思っております。このことは、さっそく全職員に伝え子ども達にも話してもらいました。職員一同、また子ども達も大変喜び。これからも、益々あいさつを大切にしようという気持ちが高まっています。



道路や線路は安全に渡りましょう

日奈久校区は、国道3号線及び肥薩おれんじ鉄道の線路を有しているとともに、入り組んだ狭い道路もあり事故が心配です。子ども達の道路や線路の渡り方はいかがでしょうか？車は急に止まれません。もちろん列車は、絶対に止まれません。

学校では、帰る前に「車に気をつけて！」等何度も注意喚起をしていますが、様々なことに気をとられ、車や列車の怖さを忘れてしまう子ども達も見受けられます。

子どもの命を守るため、交通安全については、しつこいくらい、繰り返し繰り返し注意が必要ですね。



お願い 図書館の本は期間内に返却を

昨日「学校施設・用具の破損・紛失の対応について」というお願いの文書を出しました。

実は、年々、個人に貸し出した図書館の本の紛失が多くなっています。図書館の本は、子ども達のために八代市等の公金を活用して購入された本であり、本校のすべての子ども達のための本です。子ども達にも指導しておりますが、図書館から借りた本は、必ず期日を守った返却をお願いします。

破損や紛失された場合には弁償等の対応をお願いすることがあります。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

